Rotary District 2620
持続可能なインパクトを生み出そう
CREATE LASTING IMPACT
2026-27 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ氏

Weekly Bulletin
藤枝南ロータリークラブ　会報

例　会：毎週金曜日
会　場：小杉苑　藤枝市青木 2-35-30
ＴＥＬ：054-641-3321
事務局：藤枝商工会議所内
ＴＥＬ：054-646-3919　ＦＡＸ：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2026-27 年度
会長：桑原　茂　副会長：望月　誠　幹事：杉浦　聡　副幹事：杉山茂範

例　会　第１６５１回　通常例会/小杉苑
ソング：君が代、奉仕の理想　ソングリーダー：小嶋英公君

会 長 挨 拶　桑原 茂君



皆さん、こんにちは・・
先週はスポーツの日の祝日調整で例会がお休みでしたので、二週間ぶりの例会となります。そして、今日は我らのガバナー、若林ガバナーが我々クラブに凱旋訪問としてお見えになります。
そして、今例会の前に、私、杉浦幹事、望月副会長、杉山副幹事の４名で、若林ガバナー、竹田地区幹事と会長幹事会を行ってきました。
内容は、私から当クラブの取り組みの説明（地区大会開催やすでに終えたＰＥＬＳ、ＣＬＬＳ等の設営や地区運営のサポート活動、また地区補助金を使った子供支援事業の予定、毎年のサッカー大会への協賛、また南クラブの特徴である親睦旅行等々のお話でした
若林ガバナーは今日がガバナー公式訪問の最終日となりました
３か月に渡り、７２クラブすべてを公式訪問し、ガバナーとしての思いを地区会員に伝えてきました
本当にご苦労なことだったと思います
そして、そこには必ず（縁の下の力持ち）の存在があったと思います
竹田地区幹事、富澤筆頭地区副幹事、杉山副幹事、鈴木健夫副幹事、小嶋副幹事・・本当にご苦労様でした
皆様さんは、他のクラブを訪問して、いろいろなことを感じたと思います
そこのクラブの良いところ、悪いところ・・・
そんなそれぞれが感じたこと、思ったことをぜひこれからこの藤枝南クラブに伝えていってほしいですし、それが南クラブにとって更なる成長に繋がっていくのではないかと思います。よろしくお願いいたします。
そして、最後になりますが、本日はこの例会の後、１７時より小杉苑さんで第４グループの会長幹事会が行われます。
２４．２５日の地区大会の登録のお礼と当日できるだけ多くの参加をいただけるように最後のお願いをしてこようと思います。
それでは本日もどうかよろしくお願いいたします。

出 席 報 告　中野歩惟君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
46／53　86.79％	42／53　79.24％

（1）欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）
〇加藤君〇川口君〇中村秀君〇早川君〇古川君〇山田壽君　笠原君
（1）メークアップ者

食事準備数	食事提供数	残	累計残
50	49	1	8

パーフェクト例会数：😊 😊 😊 😊 😊
欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルＢＯＸ　　中野歩惟君

・本日でガバナー公式訪問がすべて終了しますすべての訪問に御同行いただきました竹田地区幹事、喜んで運転者を引き受けてくれた富澤筆頭副地区幹事、杉山・鈴木・小嶋各副地区幹事に 本当にありがとうございました。
若林秀典君
・妻の誕生日プレゼントありがとうございました。　渡辺哲朗君
・妻のバースディありがとうございます。
内山淑夫君
・誕生日プレゼントありがとうございました。おいしいコーヒーを頂きました。　樽井勉君
・妻の誕生日のお祝い、結婚記念日のプレゼントありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。　山田壽久君
・誕生日プレゼントありがとうございました。このドリップコーヒーなかなかいいですね！
杉浦聡君
・結婚記念お祝いありがとうございました。
渡邊亮太君
・今年もボジョレーの時期になりました。どうぞよろしくお願いします。　小島英公君

スマイル累計額　２８６，０００円



■ ビ ジ タ ー



国際ロータリー第 2620 地区ガバナー
若林秀典様
〃　地区幹事
竹田敏和様
〃　第 4 グループガバナー補佐
多治見則之様

■ ガ バ ナ ー 挨 拶



国際ロータリー第 2620 地区 2026～27 年度のガバナーを拝命しました若林秀典(藤枝南 RC)です。
私の本職は歯科医師ですが今年1年は歯ではなく、2620 地区クラブの未来づくりのお手伝いをさせていただく所存でおります。
藤枝南 RC は藤枝 RC をスポンサークラブとして 1991 年(平成 3 年)に創立されました。
地元に 35 年以上の奉仕を根付かせていることには敬意を表します。
今年度初めてガバナーを輩出し、今後はクラブ事業計画の充実、地区への積極的な関与が期待されます。
さて、今年の RI 会長(オラインカ・ハキーム・ババロラ　ナイジェリア)メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。
このメッセージには「変化は始まりに過ぎません。真に重要なのは長く続くインパクトです。私たちは各プロジェクトの長期的なインパクトを考える必要があります。」
新しい水道システムは地域住民の健康にどのように寄与するのか。住民は他の地域でも同様の仕組作りを行えるのか。新しい教室はこの地域の教育向上のためのより大きな計画の中でどのような役割を果たすのか。と問題を提起してきました。
私なりに解釈をすると私たちロータリアンが目指すのは一度きりの奉仕ではありません。その場

だけ喜ばれて終わる活動ではなく、10 年後、20 年後にも地域に良い影響が残る活動をしようということだと考えます。
各クラブにおいては長年、継続してやっている事業があると思います。ただ、それは前年踏襲でマンネリ化していませんか？予算や人的パワーの問題もあるでしょうが少し、手を加えるだけで画期的になるかもしれません。知恵を出し合ってみましょう。
地区のほうに話を移しますと 2620 地区の考えは 3S　　シンプル(simple)、スリム(slim)、スマート(smart)です。事業計画、予算、委員会構成、人数等できるだけわかりやすく、無駄を省き、簡便にしていきます。無理して背伸びすることなく、身の丈に合ったことをすれば十分ではないでしょうか。
そしてロータリアンの心構えとして 3K を大切にしてください。
会社の K(事業)を第一優先事業にしてください。会社の存続があってのロータリーです。
各自の健康 K に気をつけてください。病気や怪我無く、無事に過ごすことが大事です。
家族 K の理解　自分だけが楽しむだけではなく、家族の協力、理解があってロータリー活動が続けられていることを常に感謝しましょう。
　ロータリーの始まりは 4 人でした。それが今では 200 以上の国、地域で約 117 万人のメンバーがいます。ロータリアン一人ひとりの力は微々たるものですがこれだけの人数が結集すれば地区、地域がいい方向に変わるかもしれません。「ハチドリの一滴」のように。
「楽しくなければロータリーではない」とよく言われます。この 1 年、ロータリーライフを楽しみましょう。
よろしくお願いいたします。



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/22(木) 第 1652 回	地区大会直前例会	静岡県武道館
10/25(日) 第 1653 回	地区大会	静岡県武道館
10/30(金) 第 1654 回	早朝例会	
11/6(金) 第 1655 回	会員卓話	理事会

今週の一言　古川賢吾君

地区大会に向けて精一杯頑張ります！





(担当/森下傑君)